



# 新宿小だより

No. 5 9月号  
令和8年9月1日  
千葉市立新宿小学校

## いまを大切に生きること

校長 望月 宏次

夏休みが明けて、普段の学校生活に戻りました。子どもたちの笑顔や元気な声が、久しぶりの学校に溢れています。もちろん、生活リズムの変化にすぐには追いついていけない子どもたちもありますが、慌てず焦らず、徐々に普段のリズムやスタイルに戻していければよいと思っています。

この夏休みは、自然災害による痛ましいニュースが連日報道されていました。7月28日の熊本地震では最大震度7を記録し、10年前の大地震と同様、信じられない光景に心が痛みました。さらに、8月13日に発生した千葉豪雨による浸水、冠水、停電、土砂崩れ、氾濫等、私たちが今まで経験したことのない大雨による甚大な被害に驚き、恐怖を感じ、自然の脅威と人間の無力さを実感しました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして、皆様のご無事と一日も早い復旧をお祈り申し上げます。新宿小学校の施設には特別大きな被害は生じなかったのですが、周辺には故障車、事故車が放置され、通行止めや浸水被害などが発生していました。被害に遭われたご家庭もあったことと思います。まさか千葉でこのような出来事が起こるとは……、そしてもし夏休みではなく、多くの子どもたちが登校している平日に同じような状況になっていたら……。今回の出来事を教訓に、安全・安心な学校としての対応を千葉市全体で考えていく必要があると考えています。

今回の自然災害によって、私たちの生活が一瞬にして変わってしまう恐怖を見せつけられました。とても怖い経験をした子どもたちも少なくないと思います。これからも起こりうる様々な自然災害に対して、学校として出来得る対策を事前にしっかり立てておくことはもちろんですが、それに加えて、普段何気なく過ごしている日常が決して当たり前のことではないということを、子どもたちにしっかりと伝えていかなければならないと強く感じました。

また、8月15日の終戦記念日の正午には、私も黙祷を捧げました。過去の大戦で多くの人々が命を落とした事実、そして現在も世界のいろいろな国で戦争が続いている現実を踏まえると、世界の平和について深く考えさせられるとともに、命がどれだけ尊いものかということについて、未来を生きる子どもたちに伝えていく責務が大人にはあるということを再認識しました。私たちは何気ない日常が当たり前ではないこと、命が尊いものであること、毎日を元気に生きていることがどれほど素晴らしいものであるか、だからこそ毎日を大切に生きてほしいということを、子どもたちに寄り添いながら丁寧に伝えていく責任があります。伝え方は年齢や発達段階に応じて様々ではありますが、授業や行事、普段の学校生活を通じて子どもたちの心に訴えながら、健やかな成長を支援していきたいと強く感じた学びの多い夏休みでした。

## 9月・10月前半までの行事予定

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

|  |
|--|
|  |
|--|

## お知らせとお願い

### ☆学校徴収金 第3期の再振替日 9月15日(火)

すぐーるでお知らせしたとおり、第3期の引き落とし日は8月25日(火)の誤りでした。5月28日(木)の文書に誤りがあり、申し訳ございません。第3期の再振替日は9月15日(火)となります。

### ☆学校または相談機関へ、気兼ねなくご相談を

夏休み明けのこの時期は、子どもたちの心や体が不安定になりがちです。夏休み中の様子、登校時の様子、帰宅後の様子など、お子様のSOSや些細な変化を見逃さないように見守ってください。気掛かりなことがありましたら、学校にご相談ください。学校と家庭の双方でお客様の成長を見守っていきけるようにしていきます。

また、千葉市教育委員会では、いじめ等に関する相談体制を充実させるために、24時間体制で児童生徒や保護者からの相談を実施しています。

＜千葉市教育相談ダイヤル24＞ 電話 0120-101-830 (24時間)

＜24時間子供SOSダイヤル＞ 電話 0120-0-78310 (24時間)

＜子どもにこにこサポート＞ 電話 043-380-8800 (平日8:30～17:30)

※子どもにこにこサポートは、電話だけでなく手紙でも相談できます。手紙相談用

の用紙は切手を貼らなくても届きます。なお、用紙は、学校事務室前に置いてあります。



### ☆安全で楽しい学校生活を送るために

夏休みが終わり、学校生活が始まりました。楽しく充実した日々を過ごすために、夏休み前と同様に、改めて、次のとおり子供たちに交通ルールを守ることや不審者には十分気を付けることについて話をしました。ご家庭でもお子様にお話しただけますようお願いいたします。

☆車には十分に注意すること

☆信号をよく見て道路を渡ること、信号がないところでは左右をよく見て道路を渡ること

☆防犯の合言葉『いかのおすし』を意識すること

※交通事故や不審者に関することは、初期対応が大切になりますので、何かありましたら、まずは警察に相談をしてください。それから学校へご連絡ください。



### ☆令和8年8月千葉豪雨に係る児童の心のケアについて

災害を経験した子どもの心のケアでは、「安全・安心の確保」と「日常生活の早期再開」が大切です。災害後に見られる不安や甘え、いらだちなどは、誰にでも起こり得る正常な反応です。子どもの気持ちを否定せず、話したくなった時には温かく耳を傾けます。無理に話を聞き出す必要はありません。また、「大人が守るよ」など、安心できる言葉をかけることも大切です。一方で、「がんばって」と励ましたりすることは子どもにプレッシャーを与える恐れがあります。関連するニュース映像やSNSへの接触にも配慮し、学校と家庭で子どもを温かく見守りながら、規則正しい生活を少しずつ取り戻していきましょう。お子様に関して、心理的トラウマ等心配な症状が見られた場合は学校へご相談下さい。

### ☆セーフティウォッチ活動・見守り活動をありがとうございます！

今年度も地域の皆様や保護者の皆様、PTA役員の皆様のお力添えにより、「セーフティウォッチャー」による登下校時の横断歩道・交差点での見守り活動や、「PTA見守り隊」による子どもたちと一緒に“歩きながら”“～しながら”の登下校の見守り活動等を行っていただき、心より感謝申し上げます。夏休み明けも引き続き、子どもたちの安全安心な学校生活のために、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

### ☆こども県展について(1～5年生対象)

毎年行われているこども県展(絵のコンクール)の時期となりました。今回出品する作品は、7月の個人面談時にご覧いただいた図画工作「絵をかく会」の絵です。ご希望の方は、後日配付されます決済専用QRコードを記載した申込用紙で、「paypay」か「クレジットカード」で直接、保護者の皆様に支払っていただき、申込用紙を担任に提出してください。申込期間は9月4日(金)から9月30日(水)までになります。